

府農政に“担い手の声”を反映へ

府農業会議 「担い手創生委員会」スタート

農地を守るためには、農地を活用する多様な担い手の意見を業務に反映させる必要があることから、府農業会議は、府内の農業法人代表や青年・女性経営者の委員10人で構成する「担い手創生委員会」11月下旬を発足させた。7月31日の初会合では、各委員が経営者としての経験を踏まえて、農業の新規参入や経営発展のための課題や支援施策について活発な意見が交わされた。

委員会では、新たな担い手の確保をめぐって、委員の発言が集中した。府北部の中山間地域で「担い手の誘致」に取り組む集落法人代表は「新規就農や農村移住の受け入れは、半農半Xによる収入の確保、住宅の確保、地域コミュニティへの定着など、多面的な支

援が必要だ」と述べた。一方、府南部の都市近郊で新規就農した委員は「経営規模を拡大したいが、借地希望の担い手が多く、近隣で農地を借りられない」と直面する課題を語った。

また、自然農法に特化した農業法人を立ち上げた女性委員は「有機農業の希望意見が出された。農業会議では、委員会の意見をもとに、多様な担い

手への支援施策や農人材育成のための経営力強化研修について常設審議委員会と協議。「京都府への施策提

案」を取りまとめ、10月中旬に西脇隆俊知事に直接説明の上で提出する予定だ。

担い手創生委員会の構成 (敬称略)

香川文庸 (座長・学識経験者)
岩見悦明 (府農業法人経営者会議顧問)
山崎高雄 (府農業法人経営者会議副会長)
柿迫義昭 (JAグループ京都農業法人協会会長)
中田義孝 (JAグループ京都農業法人協会副会長)
福仲 稔 (京都府農業士会長)
清水洋人 (京都府農業士会青年部会長)
青木美恵 (農業法人女性代表)
石崎信也 (新規就農者)
弘 敏二 (農業参入法人役員)



活発に意見が出された初会合。中央が香川座長（龍谷大学教授）



キクラゲを収穫する永井浩二さん

キクラゲの菌床栽培が順調

京都市 永井浩二さん、明子さん夫妻

京都市右京区嵯峨の永井浩二さん・明子さん夫妻は、市内で唯一、シイタケとキクラゲの菌床栽培に取り組

み、市場で高い評価を得ている。浩二さんは、25年前からシイタケの菌床を作り、当

初は父親が栽培を行っていたが、父が亡くなって以降、夫婦2人で菌床シイタケの経営に取り組んでいる。キクラゲは、シイタケのハウスが空く夏場に栽培できるため、3年前から栽培を始めた。芽だし時期の失敗など苦労の連続だったが、栽培方法を独学で習得し、今では肉厚で大きい高品質のキクラゲを安定的に生産できるようになった。今年も猛暑続きで栽培管理の苦労は多いが、安定生産に向けて毎日の作業に励んでいる。(京都市農業委員会)

就任にあたって

京都府農業会議会長 栗山 正隆

7月から農業会議の会長を仰せつかることになりました栗山でございます。

現地に軸足置き、しっかり支える

動をお支えいただき深く感謝申し上げます。7月豪雨は、西日本中心に猛威を振るい、京都府におきましても各地で大きな被害をもたらしまし

ます。皆さまのご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられた皆さまに

対し、心からお見舞いを申し上げます。農業総合支援センターとの合併と同時に会長に就任したわけですが、両

そして地域リーダー、担い手の皆さまと、しっかりと連携して業務を進めていくことが大事であると考えております。

京都府では、中山間地域農業から都市農業まで、幅広い立地環境を併あいさついたします。

本中心に猛威を振るい、京都府におきましても各地で大きな被害をもたらしまし

ます。皆さまのご冥福をお祈りいたしますとともに、被害を受けられた皆さまに

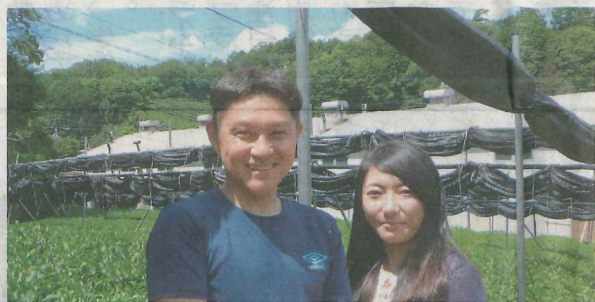
京都府農業会議

京都府支局

京都市上京区出水通油小路東入丁子風呂町104-2
府庁西別館内
075-4441-3660

農deまらきら

宇治市 小島康稔さん、晶子さん



小島康稔さん(35)は、市白川の茶農家の後継者で、両親と妻の晶子さんとともに高品質のてん茶と作りを営んでいる。宇治茶統を守りながら、「いいお作りたい」という姿勢が伝わる若きホープだ。

宇治茶の



女性委員が「つないで和束町農業委員

新会長の抱負

南丹市農業委員会会長 大沢 泰一(63)



山崎 信

地域の話し

農地の集積

与謝野町でも

高齢化は着実に

おり、優良農地は

いくための担い

は急務となっ

す。農地中間管

活用した担い手

連携協定(TPPI)が